

基本方針 4	県民の自主的、自発的な活動を支援し、学習機会の提供、学習成果の活用に努める。				
重点目標 4	県民との協働による学習機会提供と学習成果活用の推進				
重点取組	ボランティア等の活動機会の拡充、活動支援による多様な読書活動の推進				
評価指標	「子供読書に関わるボランティア」・「視覚障害者等サービスに関わる図書館協力者」対象研修受講者数				
	27 年度末	28 年度末	29 年度末	30 年度末	
目標値	—	760	820	820	
実績値	747	678			
重点取組の評価及び評価理由	<p>「子供読書に関わるボランティア」・「視覚障害者等サービスに関わる図書館協力者」対象研修受講者数は 678 人で、目標値の 89% という結果となった。内訳は、おはなしボランティア指導者研修会 66 人、おはなしボランティア講師派遣事業 250 人、こども読書活動交流集会 105 人、学校図書館研修会・布絵本講座 103 人、音訳者・デイジー編集者研修会 154 人であった。</p> <p>28 年度は新規音訳者の中級講座とおはなしボランティア指導者の新規養成を約 10 年ぶりに行うとともに、マルチメディアデイジー(*)製作研修会も初めて実施し、今後の多様な読書活動の推進につながる成果があった。</p>			28 年度	3
				29 年度	
				30 年度	
				<p>4: 目標に達している 3: 目標に概ね達している 2: 目標に至っていないが、一定の進捗が見られる 1: 目標達成に向けた進捗が見られない</p>	
行動計画実施状況・成果・課題・平成 29 年度取組予定	<p>1 行動計画実施状況・成果</p> <p>(1) 高度な知識技能を有した音訳者の育成 平成27年度実施の初級音訳養成講座修了者を対象に、中級講座を実施した。全28回21人修了。講座参加者アンケートで100%が「満足」「ほぼ満足」と回答。</p> <p>(2) 発達障害等多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデイジー製作体制の確立 マルチメディアデイジー製作研修会を2回(参加者10人)催し、試作製作も開始した。</p> <p>(3) 「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の新規養成 「おはなしボランティア指導者養成講座」を17回実施し、20人養成した。講座参加者アンケートで95%が「満足」「ほぼ満足」と回答。</p> <p>(4) 「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修機会の確保 おはなしボランティア指導者対象に3回(「特別支援学校での読み聞かせ」「学校図書館について」「著者に聞く メディアにむしばまれる子どもたち」)(参加者66人)開催した。</p> <p>(5) 県内公立図書館との連携による県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動支援の検討 県内各地で「読み聞かせボランティア団体のための講師派遣」を17講座(参加者250人)実施した。また、親や子供読書に関わるボランティア向けに、未就学児におすすめの絵本をテーマ別に100冊紹介した小冊子「いっしょによんで！親子のふれあいえほんばこ」を8,000部作成し、県内公立図書館等にも配布した。</p> <p>2 課題・平成29年度取組予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規音訳者のさらなる技術の向上を図るため、フォローアップ研修会を開催する。</li> <li>・ マルチメディアデイジー試行製作を参考にした製作マニュアルの整備と、テキストデータ作成の技術習得を予定。</li> <li>・ おはなしボランティア指導者研修会を開催し、ブラッシュアップを図る。</li> <li>・ 県内公立図書館との連携による県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動支</li> </ul>				

【重点目標 4 重点取組評価シート】

平成 28 年度末

	援の検討をする。		
参考指標 (事業統計)	28 年度末	29 年度末	30 年度末
指標 1	障害者サービス用資料製作点数		
実績値	77 点		
指標 2	子ども読書支援センター相談受付数		
実績値	250 件		
指標 3	県立図書館主催該当研修実施回数 (評価指標以外のボランティア等対象研修)		
実績値	54 回		
参考指標 (満足度)	28 年度末	29 年度末	30 年度末
指標	各研修会終了時アンケート		
実績値	97%が「満足」「ほぼ満足」		

参考 (丸囲み数字は行動計画 No.)

重点取組に対応する行動計画	○: 計画 ●: 実施 →: 継続	H28	H29	H30
<b>㉓【高度な知識技能を有した音訳者の育成】</b> ・平成 27 年度新規「音訳者 (旧名称朗読者) 養成講座」を受け、同修了者を対象に平成 28 年度中級研修を実施する。		○●	● (研修継続)	→
<b>㉔【発達障害等多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデージー製作体制の確立】</b> ・マルチメディアデージーについて、県立図書館での環境整備を行い、製作体制の充実を図る。		○●	●	→
<b>㉕【「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の新規養成】</b> ・県内全域からの派遣要望と継続的な活動に対応するため、養成講座を計画実施し、講師の確保に努める。		○●	● (派遣)	→
<b>㉖【「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修機会の確保】</b> ・「子供読書に関わるボランティア」講師の研修機会を継続的に設けブラッシュアップを図るとともに、第 1 期～第 3 期養成の講師及び新規養成の講師間交流を図る。		○●	●	→
<b>㉗【県内公立図書館との連携による県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動支援の検討】</b> ・子ども読書支援センターの講師派遣事業を継続するとともに、県内公立図書館と連携協力した「子供読書に関わるボランティア」支援を検討する。		○	○●	→

\* マルチメディアデージー：活字による読書が困難な方に対し、文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル図書